

日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2023年1月26日 木曜日

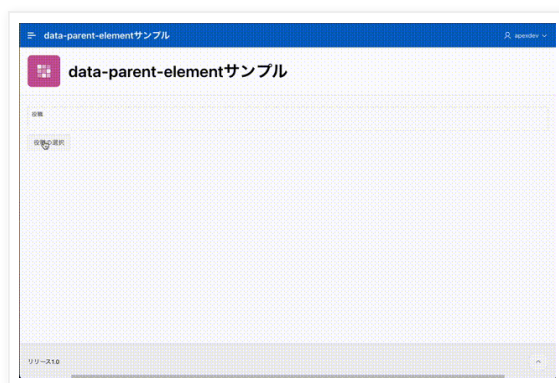
カスタム属性data-parent-elementを使ったインライン・ポップアップの実装

Philipp Hartenfellerさんが、彼のブログに以下の記事を載せています。

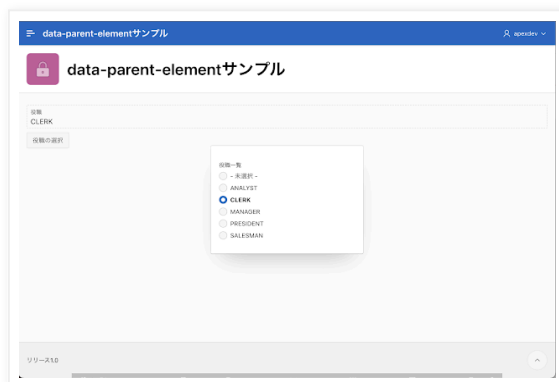
[Oracle APEX anchored inline popups for data input](#)

カスタム属性の**data-parent-element**を指定することにより、開いたボタンにインライン・ポップアップをくっつけることができます。

自分でも実装のサンプルを作ってみました。

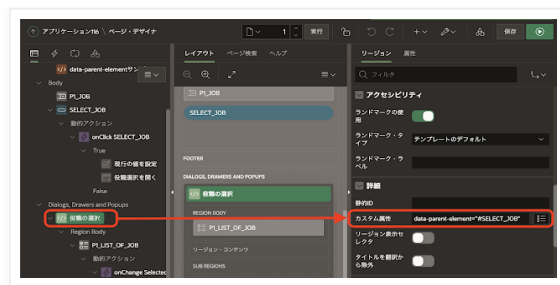


data-parent-elementを指定していない場合、インライン・ポップアップは以下のように画面の真ん中に表示されます。



インライン・ポップアップの設定が出来ていれば、ボタンに**静的ID**を付加した後、インライン・ポップアップのリージョンの**カスタム属性**を設定するだけです。

data-parent-element="#ボタンの静的ID"



似たような設定を扱ったことがあったなと思ったのですが、ありました。カスタム属性data-menuを使った実装です。

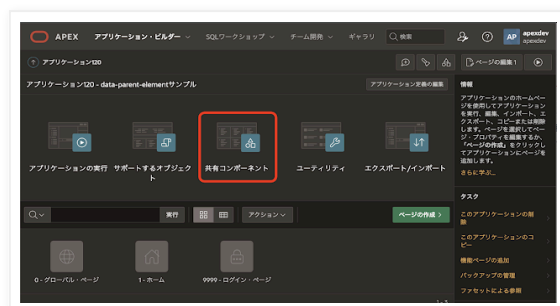
Menu Popupの紹介

data-parent-elementはユニバーサル・テーマのリファレンスに説明がありませんが、Philipp Hartnenfellerさんの記事によるとAPEX 19.2でも動作した、とのこと。

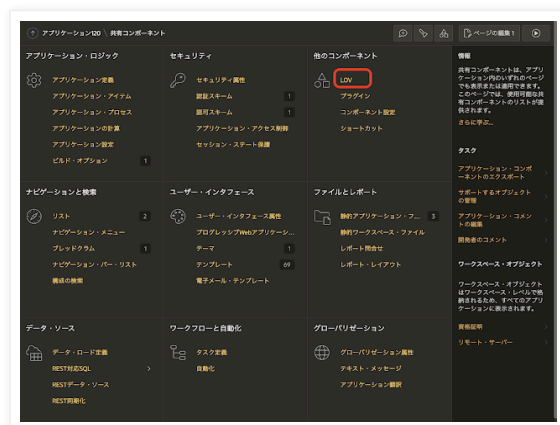
以下よりサンプル・アプリケーションの実装について紹介します。

サンプル・データセットのEMP/DEPTがインストール済み、空のAPEXアプリケーションを作成したところから作業を始めます。デフォルトで作成されるホーム・ページにインライン・ポップアップを実装します。

役職一覧となるLOVを作成します。共有コンポーネントを開きます。



LOVを開きます。



作成済みのLOVが一覧されます。作成をクリックします。



LOVの作成は最初からを選択します。

次へ進みます。



作成するLOVの名前をLIST_OF_JOBSとします。タイプはDynamicです。

次へ進みます。



データ・ソースはローカル・データベース、ソース・タイプとしてSQL Queryを選択します。SQL SELECT文を入力として、以下を記述します。表EMPの列JOBの個別の値を求めます。

`select distinct job from emp`



戻り列、表示列ともにJOBを選択します。

作成をクリックします。



共有コンポーネントのLOVとしてLIST_OF_JOBSが作成されました。



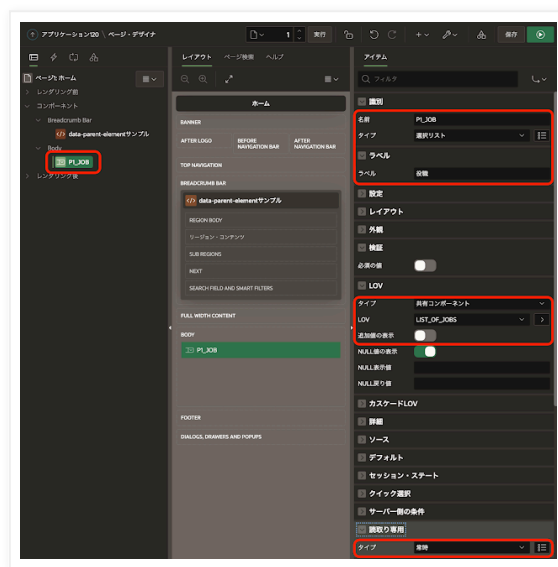
続けて、通常のインライン・ポップアップを実装します。

ページ・デザイナーにてホーム・ページを開きます。

役職の値を保持するページ・アイテムP1_JOBを作成します。タイプに選択リストを選びます。ラベルは役職とします。

LOVのタイプは共有コンポーネント、LOVとして先ほど作成したLIST_OF_LOBSを選択します。追加値の表示はOFFにします。

このページ・アイテムP1_JOBの値は、インライン・ポップアップを開いて設定します。そのため、読取り専用は常時にします。



このページ・アイテムはタイプが選択リストなので、わざわざインライン・ポップアップを実装する必要はありません。あくまで実装のサンプルです。

インライン・ポップアップを開くボタンSELECT_JOBを作成します。ラベルは役職の選択とします。

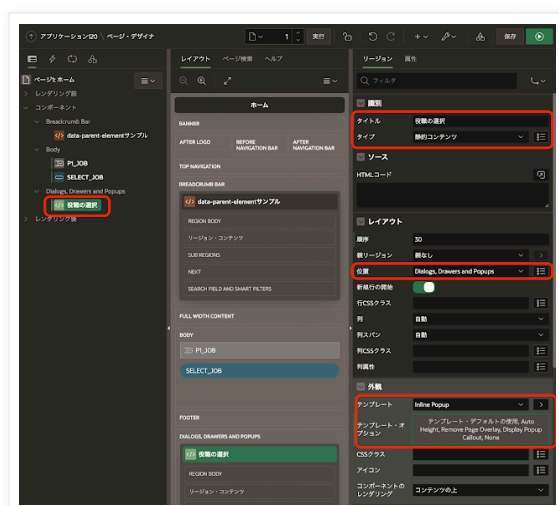
動作のアクションとして動的アクションで定義を選択します。



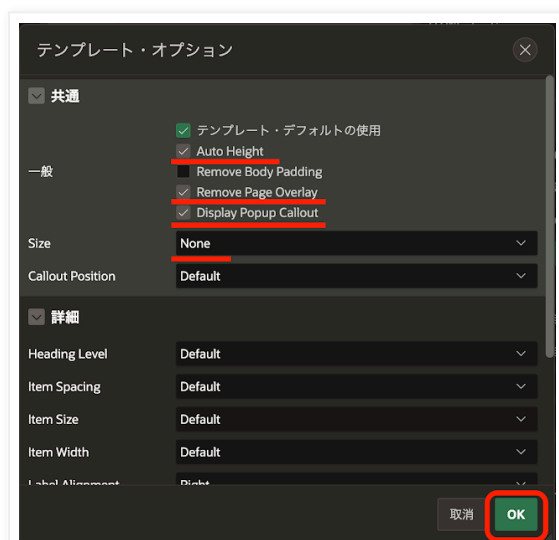
役職を選択するインライン・ポップアップを作成します。

リージョンを作成します。

識別のタイトルを役職の選択、タイプは静的コンテンツとします。レイアウトの位置として Dialogs, Drawers and Popupsを選択します。外観のテンプレートとしてInline Popupを選択し、その後、テンプレート・オプションを開きます。



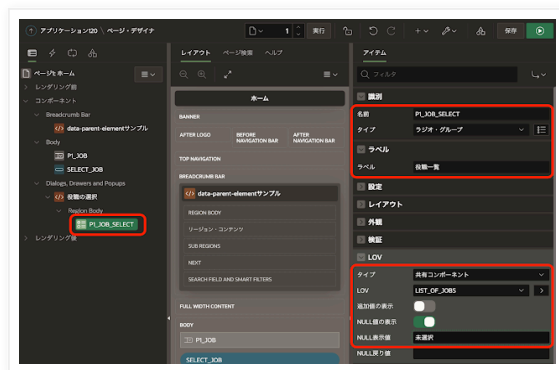
テンプレート・オプションの共通の一般のAuto Height、Remove Page Overlay、Display Popup Calloutにチェックを入れ、SizeをNoneに変更します。



インライン・ポップアップのリージョンに、役職の選択を行なうページ・アイテムを作成します。

識別の名前はP1_JOB_SELECT、タイプとしてラジオ・グループを選択します。ラベルは役職一覧とします。

LOVのタイプは共有コンポーネント、LOVとしてLIST_OF_JOBSを選択します。追加値の表示はOFF、NULL値の表示はONで、NULL表示値は未選択とします。

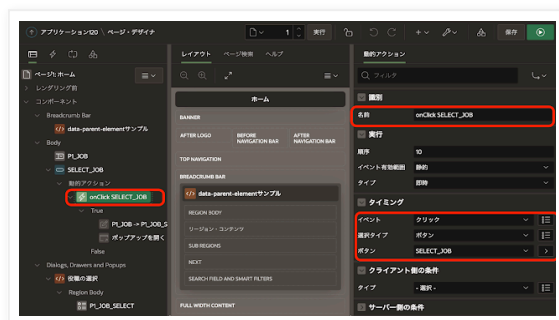


以上で画面として表示されるコンポーネントは作成できました。

続いてインライン・ポップアップを開く動的アクションと、それを閉じる動的アクションを作成します。

開く方の動的アクションは、ボタンSELECT_JOBに作成します。

作成した動的アクションの識別の名前はonClick SELECT_JOBとします。タイミングはデフォルトでイベントがクリック、選択タイプがボタン、ボタンがSELECT_JOBとなります。



2つのTRUEアクションを作成します。

最初にページ・アイテムP1_JOBの値を、インライン・ポップアップのページ・アイテムP1_JOB_SELECTに初期値として設定します。

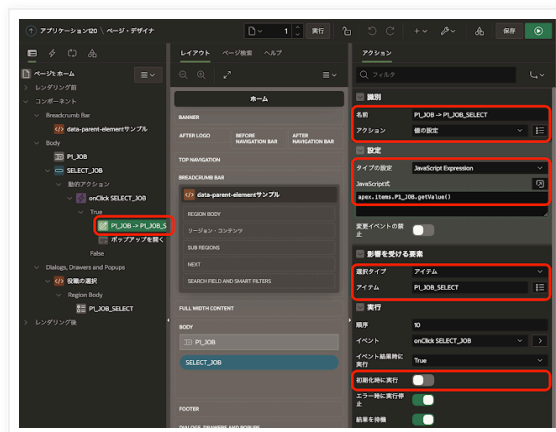
識別の名前はP1_JOB -> P1_JOB_SELECT、アクションとして値の設定を選択します。

設定のタイプの設定にJavaScript Expressionを選択し、JavaScript式として以下を記述します。

apex.items.P1_JOB.getValue()

影響を受ける要素の選択タイプにアイテムを選び、アイテムとしてP1_JOB_SELECTを指定します。
以上で、設定で取得した値が影響を受ける要素のアイテムに設定されます。

実行の初期化時に実行はOFFにします。



インライン・ポップアップを開くTRUEアクションを作成します。

識別の名前はポップアップを開く、アクションとしてリージョンを開くを選択します。

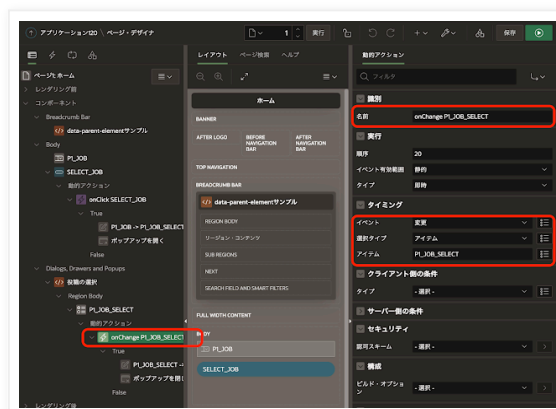
影響を受ける要素の選択タイプとしてリージョンを選択し、リージョンに役職の選択を選びます。
このリージョンが開かれる対象になります。

実行の初期化時に実行はOFFです。



ポップアップを閉じる動的アクションは、ページ・アイテムP1_JOB_SELECTに作成します。

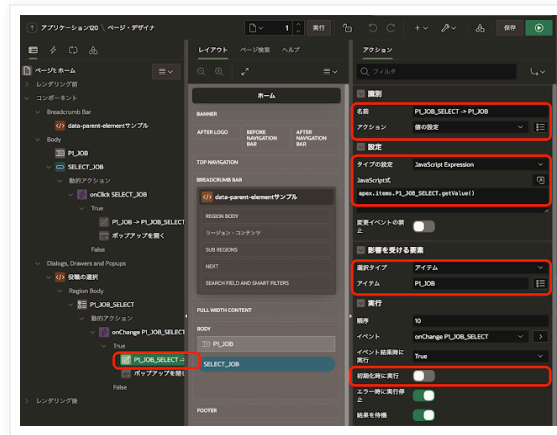
識別の名前はonChange P1_JOB_SELECTとします。タイミングはデフォルトで、イベントが変更、選択タイプがアイテム、アイテムがP1_JOB_SELECTになります。



TRUEアクションはポップアップを開いたときとは反対に、ページ・アイテムP1_JOB_SELECTの値をP1_JOBに設定します。

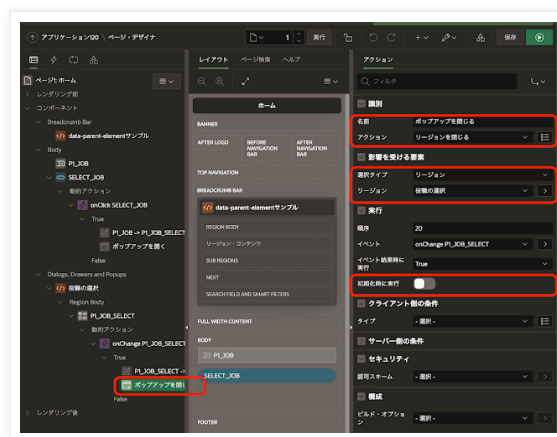
識別の名前はP1_JOB_SELECT -> P1_JOBとします。設定のJavaScript式は以下に代わり、影響を受ける要素のアイテムはP1_JOBになります。

`apex.items.P1_JOB_SELECT.getValue()`



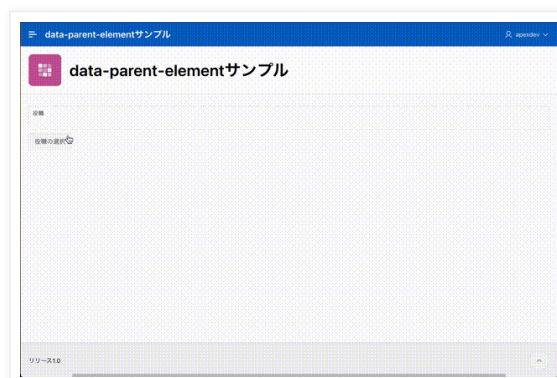
次のTRUEアクションで、インライン・ポップアップを閉じます。

識別の名前をポップアップを閉じる、アクションとしてリージョンを閉じるを選択します。



以上で、通常のインライン・ポップアップが実装できました。

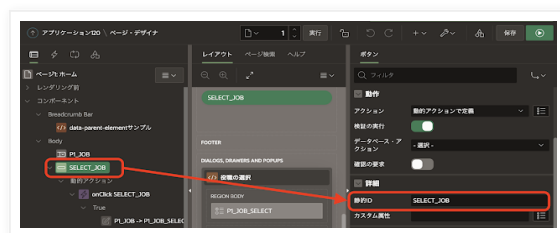
動作は以下のようになります。



これからカスタム属性data-parent-elementを設定します。

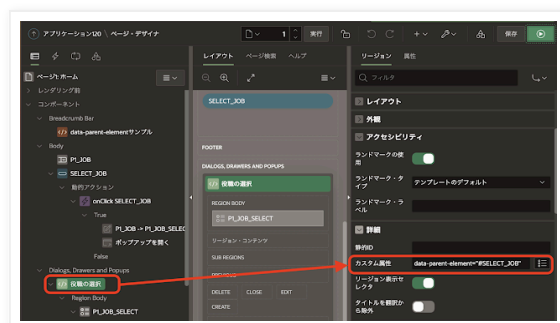
ボタンSELECT_JOBに静的IDを設定します。

静的IDはSELECT_JOBとします。



インライン・ポップアップのリージョンの詳細のカスタム属性として、以下を設定します。

data-parent-element="#SELECT_JOB"



以上でアプリケーションの実装は完了です。アプリケーションを実行すると、記事の先頭のGIF動画のように動作します。

今回作成したAPEXアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。

<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/data-parent-element-sample.zip>

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 15:24

共有

<

ホーム

>

ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)